

ダイワ厳選 コモディティ・ファンド (ダイワ投資一任専用)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2025年6月16日)
(作成対象期間 2024年6月18日～2025年6月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（商品先物）		
信託期間	無期限（設定日：2021年9月17日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ厳選コモディティ・マ ザーファンドの受益証券	
	ダ イ ワ 厳 選 コモディティ・ マザーファンド	イ. 商品先物取引 ロ. 商品先渡取引 ハ. 商品価格への連動をめ ざす E T F（上場投資信 託証券） ニ. 商品価格への連動をめ ざす E T N（上場投資証 券） ホ. 米国国債	
組入制限	ベ ビ ー フ ァ ン ド の マザーファンド組入上限比率		無制限
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することで、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

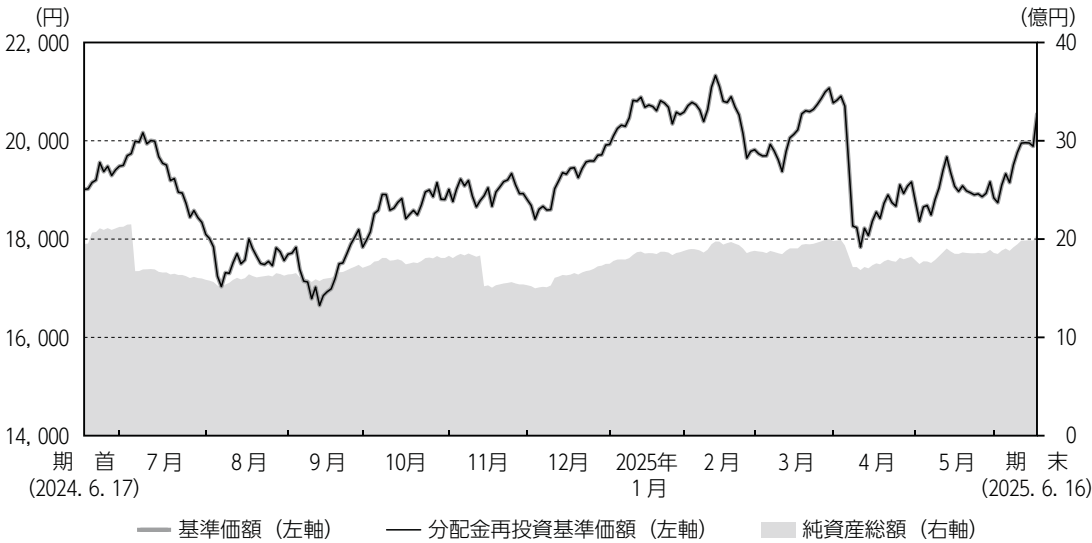
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	商品先物 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率					
1 期末（2022年 6 月15日）	円 16,038	円 0	% 60.4	% 59.4	% —	% —	% 101.1	百万円 339
2 期末（2023年 6 月15日）	14,335	0	△ 10.6	68.6	—	—	98.3	741
3 期末（2024年 6 月17日）	19,012	0	32.6	69.6	—	—	100.3	1,949
4 期末（2025年 6 月16日）	20,543	0	8.1	67.2	—	—	98.9	2,055

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：19,012円
期 末：20,543円（分配金 0 円）
騰落率：8.1%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券を通じて、商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行った結果、商品市況が上昇したことなどから、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率	商 品 先 物 比 率
		騰 落 率				
(期 首) 2024年 6月17日	円 19,012	% —	% 69.6	% —	% —	% 100.3
6 月末	19,483	2.5	76.5	—	—	100.1
7 月末	18,094	△ 4.8	73.6	—	—	99.1
8 月末	17,692	△ 6.9	67.8	—	—	99.2
9 月末	17,835	△ 6.2	75.1	—	—	99.5
10月末	19,011	△ 0.0	77.3	—	—	98.9
11月末	18,802	△ 1.1	71.5	—	—	99.5
12月末	19,925	4.8	68.1	—	—	99.3
2025年 1 月末	20,584	8.3	71.6	—	—	99.9
2 月末	19,819	4.2	69.6	—	—	99.6
3 月末	20,770	9.2	68.7	—	—	99.4
4 月末	18,752	△ 1.4	72.9	—	—	99.6
5 月末	18,839	△ 0.9	70.8	—	—	99.2
(期 末) 2025年 6月16日	20,543	8.1	67.2	—	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 6. 18 ~ 2025. 6. 16)

■商品市況

商品市況は上昇しました。

商品市況は、当作成期首から2024年7月にかけて、エネルギー銘柄を中心に下落しましたが、その後はエネルギー銘柄が上昇に転じたことや金属銘柄が上昇したことを受け、上昇しました。

原油（WTI）は、2024年7月以降、中東情勢の緊張が緩和されるとの見方や米国の景気減速懸念などから、9月にかけて下落しました。10月以降は、中東情勢をめぐる懸念の高まりやOPEC（石油輸出国機構）プラスが自主減産の縮小を延期したことなどから、下げ幅を縮小しました。2025年に入ると、中国の景気回復期待や、米国がロシアに対する経済制裁を強化すると発表したことなどから上昇しましたが、2月以降は、米国の関税政策を受けてリスク回避姿勢が強まったことなどから、4月にかけて下落しました。その後は、米中の関税を巡る協議への進展期待やウクライナとイランをめぐる地政学リスクの高まりなどから、当作成期末にかけて下げ幅を縮小しました。

貴金属は、2024年7月から、米国の利下げなどをを受けて10月にかけて上昇しました。その後は、中東情勢への懸念が後退したことで下落しましたが、2025年1月以降は、米国の政策不透明感などから再び上昇しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より円安基調でしたが、日銀が2024年7月の金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから、大幅に円高米ドル安が進行し、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調が継続しました。10月以降は、一時的に円高に転じた場面もありましたが、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安米ドル高が進行しました。2025年1月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月から4月にかけても、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したこと、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高基調となりました。5月は、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まったことなどから、月前半に円安が進行しましたが、月後半からは、国内金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、米ドル円は上昇幅を縮小しました。

■米国短期金融市況

米国の短期国債利回りはプラス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド

引き続き、主に商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2024. 6. 18 ~ 2025. 6. 16)

■当ファンド

「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。

■ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド

主に商品先物取引に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2024年6月18日 ～2025年6月16日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	10,542

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド」の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド

引き続き、主に商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

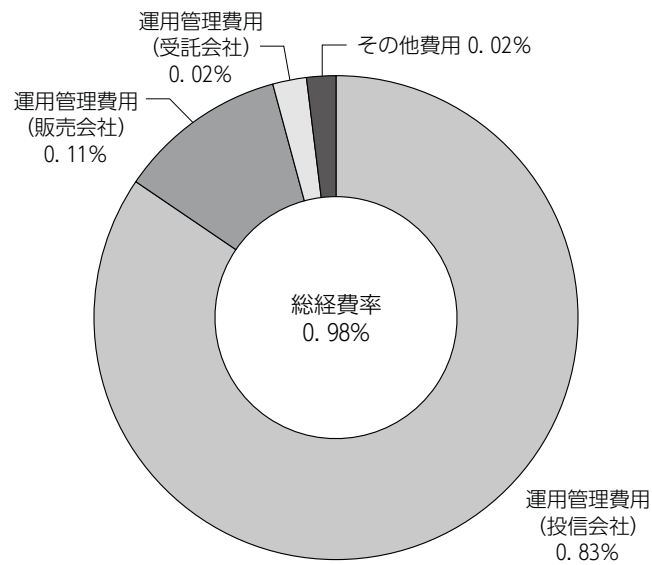
項 目	当 期 (2024. 6. 18～2025. 6. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	183円	0. 954%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は19,146円です。
（投 信 会 社）	(158)	(0. 823)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(21)	(0. 110)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0. 022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	23	0. 122	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(23)	(0. 122)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0. 019	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0. 006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(2)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0. 005)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	210	1. 095	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年 6 月18日から2025年 6 月16日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド	453, 677	907, 290	486, 313	983, 560

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

(注 1) 金額は元本ベース。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド	982, 908	950, 272	2, 054, 108

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 6 月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド	2, 054, 108	99. 3
コール・ローン等、その他	13, 441	0. 7
投資信託財産総額	2, 067, 549	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6 月16日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝144. 42円です。

(注 3) ダイワ厳選コモディティ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (2, 032, 987千円) の投資信託財産総額 (2, 412, 915千円) に対する比率は、84. 3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年 6 月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2, 067, 549, 188円
コール・ローン等	13, 441, 030
ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド（評価額）	2, 054, 108, 158
(B) 負債	11, 935, 245
未払解約金	3, 083, 994
未払信託報酬	8, 775, 690
その他未払費用	75, 561
(C) 純資産総額（A－B）	2, 055, 613, 943
元本	1, 000, 647, 443
次期繰越損益金	1, 054, 966, 500
(D) 受益権総口数	1, 000, 647, 443口
1 万口当り基準価額（C／D）	20, 543円

＊期首における元本額は1, 025, 472, 703円、当作成期間中における追加設定元本額は536, 143, 369円、同解約元本額は560, 968, 629円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は20, 543円です。

■損益の状況

当期 自2024年 6 月18日 至2025年 6 月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	13, 555円
受取利息	13, 555
(B) 有価証券売買損益	162, 083, 654
売買益	190, 551, 053
売買損	△ 28, 467, 399
(C) 信託報酬等	△ 17, 073, 249
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	145, 023, 960
(E) 前期繰越損益金	172, 633, 972
(F) 追加信託差損益金	737, 308, 568
(配当等相当額)	(536, 287, 278)
(売買損益相当額)	(201, 021, 290)
(G) 合計（D＋E＋F）	1, 054, 966, 500
次期繰越損益金（G）	1, 054, 966, 500
追加信託差損益金	737, 308, 568
(配当等相当額)	(536, 287, 278)
(売買損益相当額)	(201, 021, 290)
分配準備積立金	317, 657, 932

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	11, 848円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	145, 011, 545
(c) 収益調整金	737, 308, 568
(d) 分配準備積立金	172, 634, 539
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	1, 054, 966, 500
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	1, 054, 966, 500
(h) 受益権総口数	1, 000, 647, 443口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ① 委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ② 前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ダイワ厳選コモディティ・マザーファンド

運用報告書 第4期（決算日 2025年6月16日）

（作成対象期間 2024年6月18日～2025年6月16日）

ダイワ厳選コモディティ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

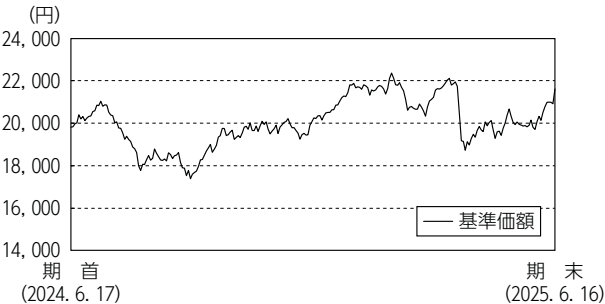
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 商品先物取引 ロ. 商品先渡取引 ハ. 商品価格への連動をめざすETF（上場投資信託証券） ニ. 商品価格への連動をめざすETN（上場投資証券） ホ. 米国国債
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	商品先物 比 率
	円	%				
(期 首) 2024年6月17日	19,820	—	69.6	—	—	100.4
6 月 末	20,324	2.5	76.6	—	—	100.1
7 月 末	18,880	△ 4.7	73.7	—	—	99.2
8 月 末	18,467	△ 6.8	67.9	—	—	99.3
9 月 末	18,628	△ 6.0	75.2	—	—	99.6
10 月 末	19,870	0.3	77.4	—	—	99.1
11 月 末	19,661	△ 0.8	71.5	—	—	99.6
12 月 末	20,869	5.3	68.2	—	—	99.4
2025年1 月 末	21,579	8.9	71.7	—	—	99.9
2 月 末	20,794	4.9	69.7	—	—	99.7
3 月 末	21,808	10.0	68.7	—	—	99.5
4 月 末	19,698	△ 0.6	72.9	—	—	99.7
5 月 末	19,809	△ 0.1	70.9	—	—	99.3
(期 末) 2025年6月16日	21,616	9.1	67.3	—	—	99.0

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 先物比率は買建比率－売建比率です。
(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,820円 期末：21,616円 騰落率：9.1%

【基準価額の主な変動要因】

商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行った結果、商品市況が上昇したことなどから、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○商品市況

商品市況は上昇しました。

商品市況は、当作成期首から2024年7月にかけて、エネルギー銘柄を中心に下落しましたが、その後はエネルギー銘柄が上昇に転じたことや金属銘柄が上昇したことを受け、上昇しました。

原油（WTI）は、2024年7月以降、中東情勢の緊張が緩和されるとの見方や米国の景気減速懸念などから、9月にかけて下落しました。10月以降は、中東情勢をめぐる懸念の高まりやOPEC（石油輸出機構）プラスが自主減産の縮小を延期したことなどから、下げ幅を縮小しました。2025年に入ると、中国の景気回復期待や、米国がロシアに対する経済制裁を強化すると発表したことなどから上昇しましたが、2月以降は、米国の関税政策を受けてリスク回避姿勢が強まったことなどから、4月にかけて下落しました。その後は、米中の関税を巡る協議への進展期待やウクライナとイランをめぐる地政学リスクの高まりなどから、当作成期末にかけて下げ幅を縮小しました。

貴金属は、2024年7月から、米国の利下げなどを受けて10月にかけて上昇しました。その後は、中東情勢への懸念が後退したことなどで下落しましたが、2025年1月以降は、米国の政策不透明感などから再び上昇しました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より円安基調でしたが、日銀が2024年7月の金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから、大幅に円高米ドル安が進行し、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調が継続しました。10月以降は、一時的に円高に転じた場面もありましたが、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安米ドル高が進行しました。2025年1月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月から4月にかけても、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したこと、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高基調となりました。5月は、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まったことなどから、月前半に円安が進行しましたが、月後半からは、国内金利の上昇を受けた金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、米ドル円は上昇幅を縮小しました。

○米国短期金融市況

米国の短期国債利回りはプラス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

引き続き、主に商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行います。

◆ポートフォリオについて

主に商品先物取引に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、主に商品先物取引等に投資し、世界のコモディティ価格の中長期的な上昇を享受することをめざして運用を行います。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション)	24円 (24)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (1)
(その他)	(1)
合 計	27

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2024年 6 月18日から2025年 6 月16日まで)

		買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル 13,432	千アメリカ・ドル 4,649 (8,200)
	国債証券		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等
先物取引の銘柄別取引・残高状況

(2024年 6 月18日から2025年 6 月16日まで)

銘 柄 別			買 建		売 建		当 作 成 期 末 評 価 額		
			新 規 買付額	決済額	新 規 売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
外国 商 品			百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
		GOLD 100 OZ (アメリカ)	1,858	1,557	—	—	398	—	12
		SILVER (アメリカ)	799	1,193	—	—	—	—	—
		NY HARB ULSD (アメリカ)	702	878	—	—	—	—	—
		GASOLINE RBOB (アメリカ)	191	372	—	—	—	—	—
		WTI CRUDE (アメリカ)	1,628	1,409	—	—	216	—	19
		SOYBEAN (アメリカ)	584	382	—	—	205	—	4
		COPPER (アメリカ)	1,947	1,931	—	—	386	—	△ 7
		BRENT CRUDE (イギリス)	1,742	1,537	—	—	220	—	17
		SUGAR NO. 11 (アメリカ)	563	341	—	—	192	—	△ 4
		LIVE CATTLE (アメリカ)	730	907	—	—	—	—	—
		LEAN HOGS (アメリカ)	1,091	917	—	—	197	—	0
		SOYBEAN MEAL (アメリカ)	603	751	—	—	—	—	—
		COFFEE C (アメリカ)	587	885	—	—	—	—	—
		GAS OIL (イギリス)	2,176	2,135	—	—	215	—	14

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2024年 6 月18日から2025年 6 月16日まで)

当 期			期 末		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘 柄		千円	銘 柄		千円
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2025/9/4	416,095	U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2024/11/29	314,640
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2026/3/19	359,282	U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2024/8/8	212,354
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2026/6/11	347,137	U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2025/3/20	178,608
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2025/11/28	301,470			
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2025/6/12	291,463			
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2025/3/20	145,789			
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2024/10/3	111,143			
U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2024/11/29	62,946			

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期				期 末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 9,800	千アメリカ・ドル 9,567	千円 1,381,715	% 67.3	% —	% —	% —	% 67.3

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分		銘 柄		種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
							外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ		U. S. TREASURY BILL		国債証券	—	千アメリカ・ドル 2,800	千アメリカ・ドル 2,775	千円 400,885	2025/09/04
		U. S. TREASURY BILL		国債証券	—	2,000	1,962	283,423	2025/11/28
		U. S. TREASURY BILL		国債証券	—	2,500	2,425	350,269	2026/03/19
		U. S. TREASURY BILL		国債証券	—	2,500	2,403	347,137	2026/06/11
合 計	銘柄数 金 額	4銘柄				9,800	9,567	1,381,715	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1,381,715	57.3
コール・ローン等、その他	1,031,199	42.7
投資信託財産総額	2,412,915	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=144.42円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(2,032,987千円)の投資信託財産総額(2,412,915千円)に対する比率は、84.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	2,412,432,958円
コール・ローン等	476,339,696
公社債（評価額）	1,381,715,845
未収入金	68,780,106
差入委託証拠金	485,597,311
(B)負債	358,323,720
未払金	358,317,780
その他未払費用	5,940
(C)純資産総額（A－B）	2,054,109,238
元本	950,272,094
次期繰越損益金	1,103,837,144
(D)受益権総口数	950,272,094口
1万口当り基準価額（C／D）	21,616円

* 期首における元本額は982,908,034円、当作成期間中における追加設定元本額は453,677,559円、同解約元本額は486,313,499円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ厳選コモディティ・ファンド（ダイワ投資一任専用） 950,272,094円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は21,616円です。

■損益の状況

当期 自2024年6月18日 至2025年6月16日

項 目	当 期
(A)配当等収益	74,488,117円
受取利息	60,006,440
その他収益金	14,481,677
(B)有価証券売買損益	△ 124,338,869
売買益	12,228,891
売買損	△ 136,567,760
(C)先物取引等損益	232,290,854
取引益	688,041,453
取引損	△ 455,750,599
(D)その他費用	△ 200,035
(E)当期損益金（A＋B＋C＋D）	182,240,067
(F)前期繰越損益金	965,231,137
(G)解約差損益金	△ 497,246,501
(H)追加信託差損益金	453,612,441
(I)合計（E＋F＋G＋H）	1,103,837,144
次期繰越損益金（I）	1,103,837,144

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。